

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

3. 研究開発課題名

個人及びグループの属性に適応する群集制御

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

西成 活裕(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

5. 評価結果

都市等への人の集中や増大するインバウンド等という将来的な状況変化を見据え、都市や施設機能、それらを形成するインフラや活用するイベントなどに対して、発生しうる群集リスクを事前にアセスメントし、事故を未然に回避可能な制御・対応策を提供する世界で初めての人流プラットフォームを実現しようとする構想を高く評価する。

特に、多様な産業界の協業先との実証構想を有し、非営利・中立なコンソーシアムの形成と都市設計への活用、さらに人材育成など、ビジネス面のみならず公益性・公共性の観点での重要度も踏まえた実施策であること、また、他国の類似研究とは異なる大変ユニークな研究であり、我が国が世界を先導する可能性を秘めていることを高く評価する。

また、探索研究期間では、グループや車椅子などの群集行動の重要属性を加味すること、従来の混雑密度指標よりも優れた新たな混雑度を発案し適用することなどにより、群集行動の予測精度を大きく向上可能であることを示すなど、世界的な成果を着実に生み出してきた。これらを踏まえれば、目指すべき群集制御プラットフォームの技術的な可能性を実証しつつあると考える。

本課題は、事故や人命喪失の軽減という社会的に重要な課題へ対応するものであり、代表者の実績に裏付けられた広範な実施先との協働による多様な社会・産業への波及、国土レジリエンスの確立に繋がることも期待できる。

以上